

大府かわら版



今の保険証なくす必要ありません!

久永かずえの6月市議会報告④

「医療情報の利活用」などとしてマイナンバーカードと健康保険証との一体化を進める議案が出された6月市議会。日本共産党の久永かずえ市議は、以下の諸点をただして議案に唯一反対しました。

不便で利用も広がらない「マイナ保険証」

「それでも一体化」推進の議案に反対

日本共産党
久永市議

国保のシステム改修委託料が千百万円余

マイナンバーカードを健康保険証としても使えるようにする「オンライン資格確認」、いわゆる「マイナ保険証」化を推進するため、市のシステムを改修する委託料として、1154万1千円が補正予算案に計上されました。

「マイナ保険証」化によって、現行保険証は今年(令和6年)12月で「廃止」し新たに発行しない。国民健康保険も後期高齢者医療保険(75歳以上の方)も、同様にするというものです。

命まもれない手法

久永市議は、「反対する理由を2点指摘しました。」

①国・岸田政権が「とにかく一度とありあえずマイナ保険証を利用して」と言い、問題が生じたらその時に考え対応していくなどという、対処法を後から練り出す「手法」では国民・市民の命は守れない。

②病院窓口で「月に1回示す」だけでよい現行保険証。それが「マイナ保険証」になると、マイナンバーカードを常に持ち歩き診察券のように毎回提示しなければならなくなる。紛失した

ご安心を

「マイナ保険証」がなくても医療は受けられます。

「マイナ保険証」を持たない市民には、申請しなくても「資格確認書」が交付され保険診療を受けられます。「資格確認書」には住所・氏名・生年月日と国保加入の有無が記載され現行保険証とほぼ同じ。紛失しても、これまでのように国保なら市役所ですぐに再発行されます。

現行保険証は12月2日以降でも、最大1年間はそのまま使えます。

実際の利用は7%

「むしろ不便」なことを示すように

場合や、社会保険から国保に替わる場合などにどうなるか、現段階では不透明なまま。さらに、保険証とマイナンバーカードとの紐づけを解除しようにも今はできず10月以降なら可とのことだが具体的な方法は示されていない。便利になるどころか「ポイント付与」以外にメリットが見当たらず、むしろ不便になるのが「マイナ保険証」ではないか。

「マイナ保険証」の利用は広がっていない——久永市議は数字を示して「実態」を明らかにしました。(左表参照)

「マイナ保険証」を利用できるようにしている大府市民は、
●後期高齢者医療保険証では：5188人(全体の56.5%)
15日現在、75歳以上(後期高齢者)の方は保険証を利用する機会が比較的多いのに「便利」なはずの「マイナ保険証」をおよそ半数の方が利用できるようにしていない。
●国民健康保険証では：7656人(全体の59.4%)
4月末、このうち「マイナ保険証」の利用率はわず

【資料】「マイナ保険証」の利用実態

	被保険者数	マイナ保険証として利用できるようにしている市民	のべ利用率
後期高齢者医療保険	11,926人	5,188人(56.5%)	
国民健康保険	12,890人	7,656人(59.4%)	7.1%

現行保険証の強制的廃止にノー

か7.1%にすぎない。(ちなみに全国は利用率7.73%
5月)。

マイナンバーカードを持つかどうかはあくまで任意。なのに、いまだトランプル続きの「オンライン資格確認」による「マイナ保険証」への一体化を国民に押し付けようとする国・岸田政権。さまざまなリスクを抱えてまで現行の保険証をなくす必要があるのか? この国に従って、命・健康を脅かす現行保険証の強制的廃止を推進する議案は認められない。
こうして久永市議だけが議案に反対。他の議員は全員、賛成しました。

【訂正とお詫び】前号(7月7日付No.1406)で「疑問④親子の願いをどう聞いているのか」の記事中、5行目の「子ども美術館」は「おもちゃ美術館」の誤りでした。訂正お詫びいたします。

相談はお気軽に
声かけください



生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

7月17日(水)午後6時~
無料

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話